



編著 楠見 孝・道田泰司
発行 誠信書房
A5判 / 252頁
定価 本体2,800円+税
発行年月 2016年6月

くすみ たかし
京都大学大学院教育学研究科教授。専門は認知心理学。著書はほかに『ワードマップ 批判的思考』（共編著、新曜社）、『看護におけるクリティカルシンキング教育』（共著、医学書院）、『実践知』（共編著、有斐閣）、『科学リテラシーを育むサイエンス・コミュニケーション』（共編著、北大路書房）、『なつかしさの心理学』（編著、誠信書房）など。

批判的思考と市民リテラシー

教育、メディア、社会を変える21世紀型スキル

楠見 孝

本書は、批判的思考と市民リテラシーが、21世紀の市民が直面する様々な問題の解決のために果たす役割を心理学、哲学、情報学などの分野から検討したものです。

第1部「批判的思考と市民リテラシーの基盤」では、心理学と裁判、哲学、神経科学の観点から、基礎事項と近年の理論的展開を解説しました。第2部「批判的思考と市民リテラシーの教育」では、批判的思考と市民リテラシーを育成する教育方法について、大学と小学校における実践例を取り上げました。第3部「社会における市民

リテラシーと情報信頼性評価」では、批判的思考によって支えられている市民リテラシーに関わるテーマとして、市民が現在直面している問題を事例として、人口、選挙、東日本大震災、リスク、医療、ネット上の群衆の思考や情報信頼性などを取り上げました。

本書を通して、市民が批判的思考と市民リテラシーをもつことの重要性、そのための教育、そして市民をとりまくメディアや社会が変わる必要があることを「批判的思考研究の最前線」からお伝えできたらと考えています。



著 杉原保史
発行 北大路書房
四六判 / 208頁
定価 本体2,100円+税
発行年月 2017年2月

すぎはら やすし
京大大学学生総合支援センター教授。専門は臨床心理学・学生相談。著書はほかに『プロカウンセラーの共感の技術』（創元社）、『技芸（アート）としてのカウンセリング入門』（創元社）、『キャリアコンサルタントのためのカウンセリング入門』（北大路書房）、『統合的アプローチによる心理援助』（金剛出版）、『12人のカウンセラーが語る12の物語』（共編著、ミネルヴァ書房）など。

心理カウンセラーと考えるハラスメントの予防と相談

大学における相互尊重のコミュニティづくり

杉原保史

ハラスメントの予防と相談というテーマについては、法律家や社会学者の発言が目立ち、心理学者の発言は低調です。

実際、新聞報道された処分事案を弁護士さんが次々に紹介するようなハラスメント予防研修はよくあります。しかし、ウェグナーの皮肉過程理論からしても、ブレイムの心理的リアクタンスの理論からしても、「〇〇してはいけません」というメッセージを強く与えることは逆効果になる可能性が高いと言えるでしょう。ポジティブ心理学の視点に立てば、ハラスメント

をしないという消極的な目標を掲げるよりも、尊重や共感といった人間関係における価値を深く胸に刻むことの方が重要です。ジンバルドの監獄実験とルシファー効果の視点は、ハラスメントは特別な悪人だけがするものではなく、ごく普通の人が誰でもなしてしまうものだという理解をもたらしてくれます。

単に禁止事項を挙げるのではなく、こうした心理学的な啓発活動を通して、コミュニティにおいて無関心な傍観者を減らし、意識の高い関与者を増やしていくことがとても大切だと思います。